



平成 20 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 タ カ ノ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鷹 野 準
(コード番号：7885 東証第一部)
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 企 画 室 長 臼 井 俊 行
(TEL 0265-85-3150)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,750	百万円 50	百万円 95	百万円 50	円 銭 3.18
今回修正予想 (B)	9,450	△460	△400	△300	△19.08
増減額 (B-A)	△1,300	△510	△495	△350	—
増 減 率 (%)	△12.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	10,405	392	429	243	15.50

2. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,100	百万円 40	百万円 20	百万円 10	円 銭 0.64
今回修正予想 (B)	8,900	△340	△360	△250	△15.90
増減額 (B-A)	△1,200	△380	△380	△260	—
増 減 率 (%)	△11.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	9,776	417	459	293	18.67

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間連結業績

第2四半期連結業績は、以下に記載の個別業績予想の修正の影響に加え、主に画像処理検査装置に関連した子会社における業績が当初予想と比較し、悪化したため、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(2) 第2四半期累計期間個別業績

①売上高

第2四半期累計期間における売上高は、景気動向の不透明感から企業のオフィス関連設備投資の手控えが予測され、オフィス椅子販売の減少が見込まれるほか、画像処理検査装置部門において第2四半期累計期間に納入を予定していた物件の納入時期が第3四半期会計期間以降にずれ込んだことおよび期初に計画していた受注案件の一部が獲得できなかったこと等により、当初計画を下回る見通しであります。

②営業損益、経常損益等

利益面におきましては、主に上記の売上高の減少要因によるもののほか、全社レベルでの資材価格の高騰による影響、画像処理検査装置部門におけるソフトウェア製作に係る外注加工費の増加等、売上原価が期初における予測と比較し、増加すること等により、損益面は当初計画を大幅に下回る見通しであります。

通期連結および通期個別業績予想に関しましては、精査中であり、現時点では業績予想の修正は行っておりません。

このような状況の中、今後の当社グループの取り組みとしましては、全社をあげた経費の見直し、管理間接部門の合理化、製品設計段階からのコスト見直し等のコストダウン活動を強力に進めるほか、販売増を目指したOEM事業オフィス家具部門における新製品開発および製品立ち上げの早期化の推進、第3四半期会計期間以降需要の増加が見込まれる画像処理検査装置の製造体制の効率化等の取り組みを前倒しで行い、今期業績の改善に積極的に努めてまいりたいと存じます。

以上

(注) 業績見通しにつきましては、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。